





日本作物学会会長候補者の立候補・推薦届け



1. 候補者所属機関・役職・氏名（氏名は自署し捺印すること，写真の貼付は任意）
京都大学農学研究科・教授

白岩立彦 

2. 推薦者所属機関・役職・氏名（立候補の場合も推薦者を記載できる。いずれの場合も推薦者は3名以内。氏名は自署し捺印すること）

- (1) 名古屋大学・教授・近藤 始彦 
- (2) 東京大学・教授・根本 圭介 
- (3) 東京大学・教授・山岸 順子 

3. 候補者経歴（職歴，会員歴，役員歴）

職歴： 1982年4月 滋賀県立短期大学農学科助手
1995年4月 滋賀県立大学環境科学部助手
1998年2月 京都大学農学研究科講師
2001年8月 京都大学農学研究科助教授
2006年4月 京都大学農学研究科教授（現在に至る）

会員歴： 1982年～現在

役員歴： 2007年～現在 評議員（この間、和文誌編集幹事、英文誌編集幹事、英文誌編集委員、和文誌編集委員、シンポジウム委員、学会賞選考委員など）

2006年～2009年度 レビュー委員長

2010年～2011年度 近畿支部長

2012年～2013年度 英文誌編集委員長

2014年～現在 副会長

4. 選挙公約（推薦による候補者も記載のこと。600字以内）

日本作物学会は、作物の特性と生産の諸原理の解明および技術開発を通じて、長く農業に貢献してきました。農学は“現象の創出や改善を目的とする設計科学でありかつ総合科学の側面を有する（日本学術会議）”と再定義されましたが、その性格を強くもつ作物学は、いわば要としての活躍が期待されています。このことを自覚し、また生命科学、情報科学、工学の進歩を取り入れつつ、研究の一層の活性化と会員各位の親睦に尽くしたく思います。下記の諸課題を中心に、齊藤前会長、丸山現会長による講演会と学会誌を最重視しながら国際活動などの活性化をはかる方針を継承し、財政問題や講演会のあり方については将来構想検討WGのご提案と各支部会のご意見をふまえながら、学会運営に取り組みたいと思います。

- (1) 和文誌・英文誌の一層の充実と発信力強化
- (2) 10th ACSAC 2020（名古屋）に向けた準備とそれに呼応した国際活動強化
- (3) 財政健全化のための制度検討と収入増の取組み
- (4) 若手・女性研究者の交流・育成のサポート
- (5) 科研費の新たな枠組みへの対応